

謹賀新年

杜
人

早稲田大学校友会宮崎県支部広報

早稲田あれこれ

歌人 伊藤 一彦



一九六二年に早稲田に入学した私たちは、今年が入学五十年となる。五十年前というとずっと昔のようにも思われるが、つい先日のごときのようにも思われる。実は去る十一月二十三日に早稲田入学

五十年を記念しての同窓会を大隈会館で行った。第一文学部哲学科の西洋哲学専修・東洋哲学専修のメンバーである。個別に幾人か集まることはあったが、正式の哲学科同窓会は初めてである。当時、九十名ほど在籍していたと思う。会場の大隈会館（この会場は早稲田の教職員でないと思えないのではないかとと思う。母校の教授になっている一人が借りた）には十四名が集まった。西洋哲学が十名、東洋哲学が四名である。卒業後初めて顔を合わせる者同士もいた。私は大学を出るとすぐに宮崎に帰ったので、多くの者と本当に久しぶりだった。

哲学の勉強を続け、大学の哲学の教授になっていた者が三名いた。他に牧師になった者、僧侶になった者、あるいは哲学と関係なく家業を継いでいる者など、その後の人生は当然ながらさまざまである。各人の近況報告を興味深く聞いた。酒を飲みながらの楽しい歓談が終わり、最後はもちろん「都の西北」の大合唱（指揮は在学中にグリーククラブに所属していた一人が行った）。二次会がないはずはない。早稲田界隈の飲み屋にはほぼ全員で流れていった。その会場では私の勧めで皆が宮崎の焼酎を飲んだ。早稲田のおかげでその後の人生が成り立ったことを感謝し合い、近くまた会おうと約束をして散会した。

私は七年前から日向市の若山牧水記念文学館長をしている。牧水は言うまでもなく早稲田の出身である。早稲田で坪内逍遙の講義を聴き（名講義で教室に入りきれないほど学生が集まったという）、北原白秋と知り合い、早稲田での青春が歌人牧水を生んだ。

その牧水顕彰の動きが全国的に高まりつつある。去る十一月六日は、牧水が晩年九年間を過ごした沼津で第十回牧水顕彰全国大会が開催され有意義だった。私も全国の牧水ファンと交流した。大会の夜は「ほろ酔い学会」（会長は佐々木幸綱早大名誉教授）で、牧水と酒を愛する四百名が盛り上がった。私が宮崎南高校



市房ダムの桜

でカウンセラーをしていた時の生徒である堺雅人君は牧水の愛読者である。二人で『ぼく、牧水！』の対談本を出したこともある。堺君も早稲田の出身である（中退したが、中退した方が早稲田はエラクなると先輩に言われたことがある）。彼が主演の、宮崎ロケ映画「ひまわりと子犬の七日間」はまもなく公開である。堺君が他の主演者の宮崎弁をたっぷり指導したことだろう。

来たる二月六日は宮崎観光ホテルで第十七回の牧水賞授賞式が行われる。受賞者は三・一の後に仙台から移り住んだ歌人の大口玲子さんである。河北新報に勤める夫を残して長男と宮崎で生活している。その歌集『トリサンナイト』は今年最高の歌集だった。その大口さんは早稲田の文学部の出身。授賞式は午後三時からで、佐々木幸綱名誉教授の講演も予定されている。ぜひ会場に気軽においで下さい。

早稲田入学の際には、新入生に文連（文化団体連合会）がサークル案内誌を配布する。その中に先輩からの「新入生へのメッセージ」がある。光栄なことに私もカメラマンの浅井慎平さん、俳優の加藤剛さん、漫画家のやくみつるさん、などと一緒に先輩のメンバーに加えてもらっている。光栄なことである。

九州ブロック会報告

「宮崎から元気発信します。」

宮崎県支部長 朽木 充嗣



新年を迎え、校友の皆様にはますますご活躍のこととお喜びを申し上げます。

また宮崎県支部の事業運営につきましては、ご理解とご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

さて早稲田大学は一二五周年の記念事業からさらに一五〇周年に向かって「ビジョン一五〇」を策定致しました。次なる使命を形にするべく新しい歩みを始めさせていただきます。わが宮崎県支部も、地元からの情報の発信が早稲田を、そして日本を、さらに世界を元気にできると考えています。

「九州の絆」

県内の校友の連携を深めるために「会報」の発行、支部会費の納入、総会・イベントと事業を進めてまいりま

した。現在は九州・沖縄・山口ブロックの連携をはかり地域の声を本部に発信しています。まだ形としては実現していませんが、交流の中からあたらしい校友会の形を誕生させたいと協力をしています。ローカルの声をグローバルの力にしていきます。本年も更なるご支援・ご協力をお願いします。



九州・山口・沖縄ブロック連合会の開催

商議員・代議員・役員会議

開催日時：二〇一二年十月二十七日

(土)

場 所：西日本新聞14階会議場

出席者：各県支部長及び幹事長・役員

当日十時より、早稲田唐津中高等学校の見学会を九名参加で実施しました。

会議 司会進行 江口福岡支部幹事長、奥井福岡市会長を議長に開会しました。

各県支部より現状、行事予定などを報告して協議に入りました。次年度は沖縄でブロック会を開催することを決定しました。

(S54政経)

【二〇一三年行事予定】

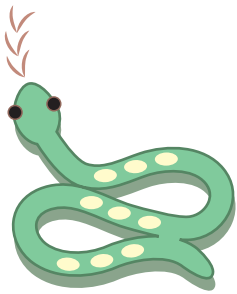
- 一月十日 佐賀県支部・大学 大隈侯命日の墓参り
- 宮崎市「ぶらり稲門会」
- 一月十九日 長崎県支部 総会開催
- 三月 宮崎県支部 役員会
- 三月十九日 石垣島 オール早慶戦
- 三月 全国幹事長 春季会議
- 四月 熊本県支部 総会開催
- 六月 会報六号 発行予定
- 「杜へ 夏季号」 発刊
- 七月 全国支部長会
- 商議員会議・懇談会
- 七月二十八日 宮崎県支部総会予定
- 八月 北九州 オール早慶戦
- 十月 全国幹事長 秋季会議
- 十月中 早稲田稲門祭
- ホームカミングデー
- 十月中 九州ブロック連合会
- 沖縄開催予定
- 十一月中 台湾稲門会開催
- 九州と交流予定

【二〇一二年宮崎県支部からの報告】

- ◎十月サポーターズ・クラブに宮崎県支部として団体入会。
- ◎十一月京都校友会設立一〇〇周年事業「京都府の並木整備」に宮崎県支部として寸志を協賛。
- ◎四条烏丸通の散策を。
- ◎二〇一二年十月開催の稲門祭に「ふるさと賞」を協賛。
- ◎福岡稲門会冬季懇親会が十一月三十日開催、宮崎県支部として協賛。
- ◎十二月十八日青木宣親激励祝賀会(日向開催)に参加。

【大学からのお願い】

- ◎卒業生「校友会稲魂賞」表彰候補者推薦のお願い
 - ◎推薦校友候補者のお推挙について(お願い)
 - ◎早稲田大学校友会費自動振替のお願い
 - ◎宮崎県支部 商議員・代議員・県支部役員一覧表
- ※資料等は事務局にあります。



連載

ペンリレール *稲門女子会*

武田薬品 医薬営業本部

山岸 里紗子



早稲田大学を卒業してもうすぐ二年がたとうとしている。二十歳の成人式前に祖父が糖尿病により失明し、せっかく祖父に買ってもらった振袖姿を見せることができなかつた。その悔しさから、政治経済学部にも所属しながらも、糖尿病患者さんを減らしたい、良くしてあげたいと考えていた。大学三年になり進路について考えるようになったとき、医学部を受験するか迷っていた。そんな時に知った職業がある。それが「MR・医薬情報担当者」であった。私が所属していた国際政治経済学科の「深川由起子ゼミ」では、早稲田大学出身の世界を舞台に活躍する先輩のお話をうかがわせていただく「就職ゼミ」が月に一度行われていた。その就職ゼミで初めてMR経験のある先輩のお話を聴くことができた。「文系の人間でも世界の医療に貢献できる」その言葉を聴いたとき、「私にはこの仕

事しかない！」と感じた。

その強い願いがかなってか、私はこうして宮崎でMRとして活動している。まだまだ患者さんに貢献できることは少ないが、お世話になってる先生方から「君の紹介してくれた薬、すごくよく効いたよ」「ありがとう」という言葉が私の生きがいになっている。そんな言葉を原動力に日々、初めての赴任地、宮崎でがんばっている。

赴任するまで宮崎に来たことはなかったが、北は高千穂、南は都井岬まで観光し、さまざまな感動体験をすることができている。ゼミの仲間や友人を宮崎に呼ぶと必ず喜んでリフレッシュして帰ってくれる。仕事中心の生活になると自分の業界ばかりが気になって視野が狭くなってしまいが、大学時代の友人に会うと、大学時代の話や今どんなことをがんばっているのかを聴くと視野も広がり、自分も負けないように頑張ろう!!と克己することができる。社会人になって感じるのは大学時代の仲間は本当に大切な存在だということである。こうして宮崎稲門会に参加させていただくことができ、本当に幸せだと感じている。

これからも宮崎の患者さんのために貢献できるMRに成長できるように頑張りたい。

(H23政経)

第52回東京六大学ゴルフ大会

(株)坂下組 松下 信之



第五十二回東京六大学ゴルフが十月七日大安の日に行われました。今回は早稲田大学が幹事、受付は早朝からで毎度担当は大変。この大会に参加するようになってもう二年。当初は、本会の幹事を長い間勤めていた伴野先輩（二十一年に亡くなりました。寂しい！）の再三の誘いに応えるべく、甲斐の意も込めて一大決心をして参加し始めました。スコアはおおたつき、他大学の人達と緊張しながらゴルフする恐怖心に打ち克つての事でした。スタートホール

は、カラ振りするのでは、OBが出るのでは、結果六十台が出て恥をかくのでは等不安がよぎります。ところが参加して感じた事！それは気楽でいいし、楽しめたという事でした。大会は上位六名のスコアで決まるので七名目からは枯れ木の賑わい。また同伴者の他大学の皆さんはスコアを崩しても気にせず優しい。枯れ木は回りを気にする事なく他大学の先輩、後輩と気楽に競技し、交流の輪を広げても良いと気付きました。今回の大会は、立教の「まぼろし」の団体優勝、本当は法政の優勝で早稲田は第三位でした。閉会式ではハプニングが発生。原因は東大が五人しか参加しなかった為ですが、成績表が配られ立教が優勝となり、喜びの発表中に訂正取り消しになり怒声や失笑万歳の声で大騒ぎ。とても印象に残る閉会式でした。毎回記念撮影もあり記録に残る。私はいつも高得点で一回も選手になっていませんが夢がある。皆さんもぜひ参加しませんか。

(S52政経)

連載

団塊世代の人生論
「私は「救国戦士」になる」

大西医院長 大西 雄二



私は昭和二二年生まれで団塊の世代である。二二〜二四年に生まれた団塊世代は八〇六万人である。中学・高校の同窓会に出席すると約七〜八割は年金生活者となっている。この世代がすべて消費者にまわるとわが国はもたないのではないか。こんな危惧を持つようになった。団塊の世代である私たちが老後をどう生きるかは社会に大変な影響を与える。

人類は文明を発達させ、社会生活の安定、医学の進歩などにより、子どもを産み、育てた後も、百歳までも生きられる可能性のある現在に至っている。現在の人類のみが歴史上初めて老後の生き方が問われている。還暦後の六十〜一〇〇歳を「人類のみに与えられた人生」として、前半と後半の両方をうまく生きることができれば、二倍の人生を謳歌できる。

しかし、この年代は心身の病気との闘いになる。少しの油断や事故などが



第三十回子規顕彰全国短歌大会で表彰

命取りになる。早くから対策を講じ、体力・知力を維持し、感受性を豊かにして老化を遅らせることができれば、より長く人生を楽しむことができる。私は平成二四年に六五歳となり年金受給資格を得た。これからのどうやって生きていくのが良いのだろう。

紀元前後のころ、インドでは次のような人生観があった。人間として生まれ、死ぬまでの間にそれぞれのライフステージを経ることが理想とされた。

第一は「学生期」、師について学び、勉学を励む時期。第二は「家住期」、結婚して子どもをつくり、仕事に専念する時期である。第一と第二のライフステージは、われわれの場合と変わりはなく普通の世俗的な生活である。第三が「林住期」である。社会と家庭

の責任を果たしたあと、やりたいことをやるライフステージである。「林住期」という人生の時期をライフステージのなかにきちんと位置づけた。この考えは大変魅力的で、示唆に富んでいる。努力して豊かな知識と経験を積んだ人が「林住期」の果実を得ることができ、人間は人としての人生を全うするために生まれてきた。自由と健康とサム・マネーがあれば、やりたいことができ、その後の人生を楽しみ、充実させることができる。

我々、団塊世代は受験戦争や大学闘争をくぐり抜けて労働戦士となり、社会変革の当事者であり続けた。試練をくぐりぬけてきた人生経験は貴重である。

人生を再出発しよう。「生き方の活性化」という新たな観点から、再度夢を追おう。社会で蓄積した知識や技術、人生経験を生かすのもよい。第一線を退いた後も改革者として自信を持ち続け、社会や地域、家族の中で生きていこう。

幸い私は開業医として「林住期」を楽しみながら社会貢献ができる。文芸による表現活動もやめたくない。

若者に様々な社会的チャンスが少ないため閉塞感が覆っている。青春時、「異議あり」と唱えた世代の私にできることはあるはずだ。知恵と経験で超高齢社会の挑戦者となる。これからは「救国戦士」になる。(S47・一文)



冬虫夏草酒
金霧島

すっきりと、ふくよかな味わい。

古来より健康に役立つと珍重されてきた「冬虫夏草」と、美味しさを極めた本格焼酎「黒霧島」の幸せな出会いから誕生した「金霧島」。よりマイルドな口当たりと「冬虫夏草」由来の深いコクが、お楽しみいただけます。美味しく飲んで、すこやかに。



冬虫夏草

霧島酒造株式会社

霧島通販蔵

www.kirishima-product.com 通話料無料 ☎ 0800-123-1574 受付時間10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
◎お酒は20歳になってから。◎飲酒運転は法律で禁じられています。

おめでとう 衆議院議員 武井俊輔さん！

宮崎を前へ！日本を前へ！

たけい 俊輔

78,392票というとても重く重い票を頂き、国政の場に立たせて頂くことになりました。

公職選挙法上でお礼は禁止されていますので、この思いを全身で受け止めて今後精進して参ります。

お陰様で最高の選挙戦を戦わせて頂きました。1日1日と反応も良くなり、多くの方に本当に真剣なまなざしで「やっぱり自民党、たけいさん頑張ってる！」と励ましを頂きました。

冷たい冬の風の中、湧き上がるような光を受けながらの日々で、疲れるどころか日に日にモチベーションの上がる素晴らしい12日になりました。

本当に多くの方にお世話になり、そして賭けて頂き、これからの行動と活動で示していかなければなりません。責任の重みでいっぱいです。

農民連盟の森永利幸委員長（JA 宮崎中央会会長）のご祝辞の中で、「自民党にという応援をたけい俊輔の応援に変えてほしい」とありがたいメッセージを頂きました。

確かにその通りです。今回は「自民党だから」ということで応援頂いた方も多かったろうと思います。それを2区の江藤拓代議員や3区の古川禎久代議員のように「彼ならば」というご支援を頂けるよう精進して参ります。

1年半の浪人の間、1区内を歩き、様々なお声を頂きました。ようやく働ける機会が参りました。

今後とも、様々な情報を発信致して参ります。

明日からも激動の日々ですが、地方で人が生きることの意味、そして新しい政治のカタチを発信して参ります。

(H17 大学院公共経営研究科)



小泉進次郎青年局長とついに



H24.11.8 宮崎三田会総会・忘年会、朽木支部長、村社事務局長、蕪市幹事長が参加した

復讐するは我にあり

県支部事務局長 村社 昭二

毎年十一月上旬に慶應義塾大学OB会の宮崎三田会総会・忘年会があり、早稲田大学校友会からも必ず数名出席しています。

今年はホテル浜荘（社長がOB）に朽木支部長と蕪宮崎市稲門会幹事長と私の三人で出席しました。三田会の総会出席はいつも40〜50人と多くはあり

ませんが、毎月一回の朝食会と夜の懇親会があります。また数年前から薬学部として合併した共立薬科大学卒業生も参加されていますが、ほとんど女性ばかりなのでまだまだ三田会としては馴染んでいないようでした。

慶應には同級生や先輩など知人が多いので、小心者の私でも見慣れた顔ばかりで安心なのですが、懇親会での早稲田側への配慮が異常(?)に多く、三田会名物・物品オークションなどのイベントでいじられ、応援歌・校歌を歌う時など敵（早稲田）を血祭りに上げるような荒い歓待を受けました。

早稲田の総会にも来賓として宮崎三田会からいつも数名来ていただいています。次回には早稲田的なスマートな接待ではなく、慶應的な荒い歓待で復讐を誓いました（笑）。早慶戦といえども、学生時には運動部以外ではそれほど交流はなかなか無いのが一般的ですが、都から遠く離れた宮崎の地で、しかも卒業後数十年経っても、母校のリストペクトできるライバルとして意識できるのは幸せなのかもしれませんね。

(S57法)

宮崎三田会幹事、谷口善雄氏の指揮で「都の西北」を斉唱しました。

宮崎県支部総会

「平成二十四年度宮崎県支部総会が開催される」

延岡稲門会幹事長 市園 清貴

「オリンピッククイヤーは延岡で！」の言葉通り校友会県支部総会ならびに早稲田大学地域交流フォーラムが、七月二十二日ホテルメリーージュ延岡にて開催されました。

当日は支部役員会、大学側と支部商議員・代議員との意見交換会、総会と続き、県内各支部の活動報告が行われました。また、地域交流フォーラムでは、早稲田大学 宮内孝知理事による「いま伝えたい、早稲田の力」、法医学術院 山本研教授による「事業再生の法システム」という演題でご講演をいただきました。

この後の懇親会におきましては、父母会、延岡三田会、大学関係者、そして校友の皆様約七十名の方々のご参加のもと、オリンピッククイヤーにふさわしく、今回のロンドンオリンピックに早稲田から出場したティーン元氣、サッカーの吉田麻也選手他、十六名のDVDをオリンピックに沸くロンドン稲門会の様子と共に紹介、また延岡稲門会若手ホープによるランニングと短

パン、赤帽によるお接待があり、最後に紺碧の空、都の西北と大いに盛り上がりました。

遠方よりご参加いただきました校友の皆様、本当に有難うございました。今回出席できなかった校友の皆様、次回またお会いしましょう。(S53法学)



商議員・代議員懇談会



総会



懇親会（若手ホープによるお接待）



H24.7.22 延岡市ホテルメリーージュにて県支部総会

大西医院 (内科)

医師 大西 雄二

〒880-0002 宮崎市中央通 2 番 5 号
TEL 0985-22-3069 FAX 0985-31-8450
メール :oyuuji22@cello.ocn.ne.jp

創業 65 周年。
感謝価格にて「住宅の省エネ塗装」をうけたまわります。



国土交通大臣許可 特定建設業 一般社団法人日本塗装工業会会員

本社 / 宮崎市大学跡江 386-4 TEL 0985-47-3585 メール受付
福岡支店 / 福岡市博多区蒲田 2 丁目 1-4 TEL 092-503-9881 info@kuchiki.co.jp

くちき 検索


宮崎県支部役員構成

平成25年1月1日

役 職		氏 名	卒業年次・学部
商 議 員 (早稲田大学)	賛助商議 賛助商議	※ 蛭原 一成	昭38 法学
		※ 森 松平	推薦 文学
		※ 神崎 義世	昭39 政経
		※ 飯干 喬啓	昭40 商学
		※ 日高 基秀	昭41 商学
		※ 河野 秀昭	昭49 商学
		※ 江夏 拓三	昭52 商学
代 議 員 (校友会)		※ 朽木 充嗣	昭54 政経
		※ 森川 護	昭48 理工
		※ 市島 莊史郎	推薦 文学
		※ 池田 文明	昭52 教育
		※ 鈴木 利一	昭53 政経
		※ 市園 清貴	昭53 法学
		※ 川崎 辰巳	昭54 教育
県 支 部	相 談 役	蛭原 一成	
	相 談 役	森 松平	
	支 部 長	朽木 充嗣	
	幹 事 長	森川 護	
	事 務 局 長	村社 昭二	
	監 事	伊地知和憲	昭45 法学
		野崎 義弘	昭45 法学
	幹事(会計)	福留 尚仁	平13 法学
	幹事(GOLF)	福井 俊郎	昭53 法学
	幹事(IT)	篠原 俊尚	平 5 社会学
福田 秀春		昭49 文学	
幹事(広報)	鶴澤 胤博	昭43 政経	
延岡 日向 宮崎 都城 小林 日南	会 長	飯干 喬啓	
	副 会 長	上田 耕市	昭53 商学
	幹 事 長	市園 清貴	
	会 長	市島 莊史郎	
	幹 事 長	三輪 治夫	昭46 文学
	会 長	鈴木 利一	
	副 会 長	福井 俊郎	
	幹 事 長	蕪 美知保	昭60 法学
	会 長	江夏 拓三	
	幹 事 長	原口 慎一郎	昭53 政経
	会 長	池田 文明	
	幹 事 長	河野 秀昭	
	幹 事 長	豊田 裕康	平 8 法学
	職 域 支 部	会 長	※ 梅原 誠史
幹 事 長		蕪 美知保	
会 長		川崎 辰巳	
幹 事 長		村山 育志	平 4 文学
副 会 長		山脇 誠	昭58 文学
会 長		※ 松下 信之	昭52 政経
レディース稲門会	副 会 長	山脇 誠	昭58 文学
	幹 事 長	※ 渡辺 美穂	昭60 文学
		前田 省子	平 1 文学

※議決権を有する役員(18名)

7



土地の有効活用をお考えのあなたに
高い入居率を誇る

Y&M ユー・マン・ション

しあわせ賃貸ネットワーク
Y&M ユー・マン・ション

をご提案いたします。

地域社会に貢献する企画提案型企業【ISO9001・ISO14001】認証取得


神崎建設工業(株)

代表取締役社長 神崎 義世 (昭和39年 政経卒)

■本 社 〒 880-0832 宮崎市稗原町 63 番地 1 TEL(0985)25-1233(代) FAX(0985)25-1240
URL <http://www.kanzaki.net> mail info@kanzaki.net

■延岡営業所 TEL(0982)33-0858 FAX(0982)33-0877

■日南営業所 TEL(0987)55-0019 FAX(0987)55-0020 ■関連会社 (株)カンエイ (不動産・賃貸管理)



校友からの一言

「組織内の信頼」

前都城市長 長峯 誠



過日、都城市長を退任しました。三十五歳で就任したため、職員は半分以上が年上でした。そこで、何ををもって説得力とするか考え、「誰よりも早く出勤し、誰よりも遅くまで働く」とにし、八年間、休みなく職責に邁進しました。

リーダーシップの本質は「自己犠牲」にあると思います。リーダー以上に自己犠牲を払う構成員はいません。一番嫌な仕事を真っ先に取り組んでこそ信頼は生まれます。

口蹄疫や新燃岳噴火といった究極の場面では、「どちらをとってもリスクがある」決断の連続です。そんな時、組織内の信頼感は絶対条件となります。

これら貴重な経験を、今後も活かして参りたいと存じます。

(H5政経)

「懐旧」

日本赤十字社宮崎県支部

丸山 文民



四十年前、早稲田を卒業して県庁に職を得た。

大隈会館二階の大教室で法学部の卒業証書授与式が行われ、当時の学部長高野竹三郎先生が「諸君は今から社会の大波にさらされる。早稲田の卒業生としての誇りを忘れることなく、『さすがは早稲田の出身だ』と言われるような存在になれ。」と訓示された。

社会に出てから此の方この言葉を忘れたことはないが、我が半生を顧みると忸怩たる思いがする。

さて、職場の一年先輩に同じ年齢で同じ稲門の出身者が二名いた。一人は飄爽^{そうそう}として我が道を行くタイプで、もう一人はスポーツマンで快活な同輩であった。

二人とも職場の信頼もあり有為な人材と目されていたが、残念至極ながら一人は三十代、もう一人は四十代で夭折^{ようせつ}してしまった。

肩を寄せ校歌を歌う度にこよなく「わせた」を愛した二人の姿を思い出す。

もし今、この世にあらばと今更ながら無念の思いひとしおである。

(S48法学)

「私と都城」

(株)加藤順漬物店 加藤 晃久



「どうして都城なのですか？」京都で生まれ、都城で漬物野菜を作る私はよくこの質問をされて当初は困った。祖父が都城に着目した理由がわからなかったから。

実家は京都の漬物屋で亡き祖父が始めた店だ。祖父は京都で漬物を作る傍ら、何故か京都から遠く離れた都城でも漬物用野菜を作っていた。鮮度面では都城の野菜は京野菜に勝てない。それでも都城にこだわった理由は何か、私は亡き祖父の意思を引き継ぎ都城で野菜作りを始めた。京野菜に負けず劣らず品質の高い野菜を作れる事がわかった。

都城で作られた野菜の漬物は出荷先の京都の料亭でも高い評価を受けている。今後も都城から、京都から、早稲田マンとして日本の文化を発信していきたい。

(H21二文)

「早稲田の杜へ」

県中部教育事務所
教職稲門会長 川崎 辰巳



昭和五十六年三月早朝、大隈講堂前には、大学の卒業式を終え、明け方まで酒を飲んでいた四人の若者が最後の別れを惜しむように背を向けて立っている。「それじゃ、みんな元気だな。また会おう。」そして、お互い背を向けたまま東西南北のそれぞれの方向に向かって歩き始めた。この別れのセレモニーは、事前に四人で何度も検討して決めたことである。

あれから三十年以上が過ぎた。Aは静岡でゴルフ場の経営者に、Bは東京で地熱発電の研究者に、Cは福岡で電力会社の部長に、そして、私は故郷宮崎に帰り、教職に就いた。それぞれが家庭をもち、それぞれの人生を歩んできた。

そして、四人は、六十歳になった三月に、またあの講堂の前に集まることになった。髪が薄くなった者、白髪まじりの者、腹の出た者……どこか哀愁を漂わせながら。再会の日が楽しみである。

(S55教育)

「感謝」

神崎建設工業(株) 神崎 義世



私は、一昨年、古希を迎えて、七十過ぎとなりました。

私の来し方は、建設関係の会社を四回変わり、最後に四十八才で独立と、波乱万丈でありました。私が、今日まで来る事が出来たのは、合理的現実主義を貫いたからだと思っています。そして、現在、会社は順調に展開しており、家庭も波が立つ様な事もありません。

今まで、私に関わった人々に、心から感謝をする日々であります。

私の人生も、後十五年から二十年で後、この晩年、人生という劇場の最後の幕を迎えて、人間がこの世に生れた価値、即ち、自分の魂をみがく事、即ち、人の為、世の為になる事を少しでもしていかうと思う今日この頃であります。

(S 39 政経)



「早稲田への思い」

(有)江南建築 串間 栄次郎



昭和六十二年中学三年生の冬、大学ラグビー雪の早明戦を見た翌日、同級生が今泉、堀越両選手の物真似をする中自分は友人に高らかに宣言したのでした。「俺は早稲田に行つてテレビ局に就職し芸能人と結婚する」と。

そのような邪な夢は当然ながら叶わなかった訳ですが、とりあえず何とか早稲田にだけは入学させて頂きました。

早稲田での生活は大変居心地のいいものであり、人より長く通うことになったのですが、それなりに充実したものだだったと、今では思えます。

宮崎では高校が自分で選べない制度であった為、早稲田は自分で選んだ最初の学校であり、歳月が流れた中、早稲田への愛着は自分の中では大きいものとなっています。今までの早稲田から頂いた財産をこれからは少しでも早稲田に返していければ、と思う今日この頃です。

(H 9 法学)

「真空管アンプ」

宮崎放送 肥田 公英



三十四年前、社会人二年目に頑張つて買ったステレオの真空管アンプが二度の改修を経て、今も現役で稼働中。

きっかけは、高校の時に友人の兄から貰った手作りの真空管アンプ。物心ついた頃に父親が半田ゴテを使って手作りしていたのを見て親しみを持っていたが、大学に入って初めて聴いた友人のトランジスタアンプの冷たい音に比べ、温かくて優しい。それが強い思い込みになったのだ。

その真空管アンプが縁で、県立図書館所蔵のレコードを再生する街角コンサートに係るようになった。会員が交代で持ち寄るフロアスピーカーと真空管アンプの温かくて懐かしい音。興味をお持ちの方はご一報を。

(S 52 法学)



「宮崎は良いところ」

(株)九電工 宮崎支店 古川 英博



私は昨年四月に宮崎に参りました。十一月二十一日開催の「宮崎市地区稲門会」が初参加です。会場の「杉の子」さんは他の機会にもよくお世話になりますが、いつものゆつたりした部屋が今回は隅々まで満杯の賑わいで、こんなに大勢で利用できるのかと改めて感心した次第です。

さて自己紹介ですが、私は福岡県出身、両親が今も住む春日市に実家があります。長男でもあり卒業後Uターン志向で九電工に入社しましたが、どういふわけか二回で通算約十九年間東京勤務、特に二回目は子供二人が幼稚園年中組と小学三年生から五年前までの約十四年間勤務となり、家族は今も埼玉県、私は単身赴任です。人生とはやはり思うように行かないものですが、さてさて宮崎は良いところですね。

(S 56 商学)

「小林稲門会の立上げを」

都城市教育委員会

小林稲門会長 池田 文明



小林稲門会の世話役を引き受けたものの、何もしないまま歳月が流れ、申し訳ない気持ちです。平成六年の名簿では心もとないと、新たな名簿作りで言い逃れをしています。

さて、正月の楽しみのひとつが「箱根駅伝」。昨年は見事優勝、今年は残念ながら四位。来年（二〇一三年）は往路・復路完全優勝を期待しています。その原動力の一人として期待しているのが、小林高校出身の前田悠貴君（四年）です。昨年も今年も区間2位の力走。来年は是非、区間賞で花道を飾ってほしいものです。

その活躍をバネに、二〇一三年こそは「小林稲門会」の立上げをなんとか実現しようと思っています。

会員情報をお寄せください。

(S52教育)

「ひとり言」

大同生命宮崎支社 鈴木 毅



単身赴任生活十一年。喜ぶべきかどうかは別にして、何でもできるようになりしました。掃除、炊事、洗濯……。本当にいい旦那さんです。(笑)

勤務地で最南端の宮崎については、着任して驚いたことがいくつもありました。

まず、冬に路地植えのブーゲンビリアが咲き、バナナが生っている！バナナは日本では熱帯植物園限定とと思っていました。かと思えば意外に寒く、先日の最低気温は氷点下。本当にここは宮崎か？そしてお酒。飲み屋の多さにびっくりかつワクワク。意外に日本酒好きな方も多くて、逆に焼酎の旨さを分かり始めた私は「え、そうなの？」

人の温かさは思ったとおりの宮崎で、更に多くの「意外」を体感したいと思っています。

(H3法学)

「ホームカミングデーで
大学訪問」

鵜澤 胤博



H24.10.21 稲門祭

卒業後四十五年目、カミングデー招待の年齢になり十月二十一日に母校を訪れた。

前回三十五年目も出席したが、五年後の次回五十年目が最後の招待となるので、

また違った感覚での出席だった。大隈講堂前に十時ピタッとサークルの同期三人が集合、大隈侯の銅像前を經由して懐かしいバス道を歩き、式典挙行の

記念会堂へ、十時三十分開会に先立つ応援部の「紺碧の空」に合わせた応援があり開会。総長式辞、深作欣二氏の挨拶、竹島問題でぎくしゃくする日韓関係、民間外交の重要性を感じる、韓国現代自動車元会長への名誉博士号授与と氏の挨拶があり、最後に校歌を全員が歌って式典は終了。

再び大隈講堂前に戻り、庭園の芝生に座りビールで乾杯、毎日の生活の状況を伝え合った。昭和四十三年卒の校友は年次稲門会「誉燦会」(四十三をもじって)を結成済、新商学部の教室で会し、会長の見城美枝子氏の挨拶を受け、会員のバンド演奏も聴き、今後の活躍と健康を祈り合い解散した。キャンパス内ではイベントも盛り沢山。我々は部室があった学生会館跡の小野梓講堂での稲門音楽祭へ、フジTVの露木茂氏(卒後五十年)ナレオ、ニューオリンズJクラブ、ハイソ等の演奏を嬉しく聴いた。フィナーレは十七時からだが、サークル懇親会が高田馬場であるためバスで急行、ここでも互いの健康を祝って乾杯、時の経過を忘れ談話に花が咲いた。毎年十月の第三日曜日はカミングデーの該当年代に関係なく校友は参加できる「稲門祭」の日である。学生時代を懐かしみ、今後への健闘心を奮い立たせる事も出来るので、この日の大学訪問を推奨する。

(S43政経)

森松平さんが旭日双光章を受賞

宮崎日日新聞社 森 耕一郎



以来、店を大きくしながら私と妹の省子は父と同窓の早稲田を出してもらった。時の経済成長や数々の人との出会いに恵まれたこともあったが、何よりもお客様目線で料理を提供し続けてきた父と母の誠が天に通じたのだと思う。

新聞記者稼業を続けている私は時折、料理も新聞記事も根本は変わらないと感じる。驚かせたり、感動させたりする記事や料理を作るには、まずは地道な材料探しから始まる。その素材からできあがる作品は、料理の意図を明快にした上で味わい深く仕上げなければならぬ。なによりも大切なのは誠実さである。その基本を私は父と母の後ろ姿から学んだ気がする。

叙勲の知らせを受けて早速、早稲田の姥原一成、伊地知和憲両先輩らが発起人になってお祝いのパーティーを開いていただいた。その席上、父は「とりわけ伴侶である玲子さんに感謝したい」と語った。七十を過ぎた二人だが、これからも仲良く健康で長生きしてほしいと心から願う。

(S 62政経)

「ふるさと料理杉の子」を経営している父の森松平が十一月、観光功労・旭日双光章の叙勲を受けた。息子としては非常に誇らしいことである。鹿兒島県枕崎市出身の父が、母・玲子の郷里である宮崎市のニシタチのビルの一角に小さな料理店を開いたのは昭和四十五年十月のこと。



青木宣親選手激励祝賀会

青木宣親選手後援会主催(日高基秀会長)



H24.12.18 ホテルベルフォート日向で稲門集合

十二月十八日、ホテルベルフォート日向において開催された。日向支部の市島会長を始め地元日向、延岡の校友、朽木県支部長、村社事務局長が出席した。約三〇〇名の出席者(内子供五十名)で、盛大な歓迎。青木選手は「今年はテスト生で入団し、百五十一試合に出場、レギュラーになった。来年からが本当のスタート。」

チームに貢献して良い成績をのこしたい。」と抱負を述べた。

本年度の成績：ブルワーズ所属
百五十一試合五百二十打数百五十安打
打率二八八 盗塁三十、本塁打十本

今年の活躍を期待したい。

【第17回若山牧水賞受賞 歌人大口玲子さん】

晩春の自主避難、疎開、移動、移住、
言ひ換えながら真旅になりぬ

第17回若山牧水賞、宮崎市在住の大口玲子さんの歌集「トリサンナイト」に決定。二月六日、宮崎市の宮崎観光ホテルで授賞式が行われる。東日本大震災後、新聞記者の夫と離れ仙台市から宮崎市に移住している。

次回、その思いなどを書いていただこう。

平成 24 年度 支部会費納入のお願い

納入方法

- ① 払込取扱票にて払込（別紙）
- ② 金額 2,000 円（年額）
- ③ 振込先 ゆうちょ銀行
（口座記号番号 1790 - 8 - 70909）

※同封の払込取扱票で払込みください。



H24.4.1 高岡花見会の様子

* 花見のご案内と参加者募集 *

もくてき	春を愛で自然の萌芽を楽しむ
と き	平成 25 年 3 月 31 日（日）
と ころ	日南市鉄肥「竹香園」
行きと帰り	J R 日南線
集合場所	南宮崎駅前 9 時集合
出発～帰りの時間	9 : 30 出発～帰り 15 : 00
会 費	昼食弁当及び飲み物代 2,000 円 弁当は「杉の子」特製予定。
参加者 募集切	平成 25 年 3 月 25 日（月）必着 5 名以上で成立、ご家族参加歓迎。
募集方法	携帯へ電話 070-5699-6181 (Mr. ヒデ) メール : eva-hide1125@miyazaki-catv.ne.jp

Coffee Break



昨年、十二月十四日、夕方から雨。しだいに強くなった。西都の銀鏡神社の神楽参拝の案内ハガキが届いている。大雨を理由に義理を欠いても許されるかなと思いつつ、翌日の十五日を迎えた。カーテンを開けると朝日が射している。行かねば、と思った。案内状には、昼から三十二番「ししとぎり」とある。

朝風呂に入り洗濯したてのものを身につけて、家内に「言ってくるわ」と声をかけて家を出た。家内は不意打ちをくらった人のようにキョトンとしていた。

銀鏡は、自宅から七十 km 離れた山の中。昼に着く。古い小さな神社の拝殿では、神事が行われている。境内で、権禰宜の八十二歳になられる濱砂武昭さんに会った。もう十四年のお付き合いである。

「ご案内のハガキをいただきながら、昨夜の大雨で行けない口実ができたと思っていましたが、今朝の陽射しを見て、武昭さんとの再会にはたさねば、と思いついてやってきました。菊花の約です。」とご挨拶をした。

武昭さんは、白衣の神職姿。高齢とはいえ、つやのある凛々しい顔には気品が満ちている。俱に再会を喜んだ。

「ししとぎり」が終わった午後二時、椎葉村の日当にむかうべく武昭さんはじめ銀鏡神楽の方々にお暇の挨拶。村所を過ぎ、熊本県の横当トンネルを抜けると、湯前。水上村の市房ダムからの坂道を北東へ上れば、県界不土野峠である。途中から霧。峠は朦朧、暗然としている。

今回の椎葉行きには、二つの理由があった。一つは、先週の尾前神楽で会った若者との再会の約束を果たすこ



日当神楽「神送り」

と、もう一つは、椎葉記述のためである。

耳川源流の尾前の「ドライブイン平家」に立ち寄る。猪猟師数人が、捕れたばかりの猪の肉を焼いて焼酎を酌みかわしている。しばらくその狩りの話に加わった。

日当の集会所に着く。雨にもかかわらず、来客も大勢参集。約束した若者は、わたしの顔をみとめて、うれしそうな顔をした。神事の祝詞奏上がはじまった。

過疎化のすすむ村落共同体。人々のひたむきな舞いに感動を禁じ得なかった。午前七時半、日が昇った。山の神々はお帰りになった。

「直会にはぜひ」と声がかかったが、帰って選挙にいかなければならない。若者や一座の方々にお暇をして、再び不土野峠を越えた。

昼前に自宅着。自転車に乗って投票所へいく。約束と義理をはたした思いがして身が軽かった。昼飯を喰ったら、そのまま寝入っていた。(F)